

2018年3月18日

福音書からのメッセージ

わたしは地上から上げられるとき、すべての人を自分のもとへ引き寄せよう。

(ヨハネによる福音書12章32節)

イエス様はこのような言葉を語られました。

「はっきり言うておく。一粒の麦は、地に落ちて死ななければ、一粒のままである。だが、死ねば、多くの実を結ぶ。」

はっきり言うておくという言い方は、ヨハネによる福音書にたびたび出てきます。直訳では、「アーメン、アーメン、わたしはあなたがたに言う」となります。この言葉は、これから語ることもしっかりと覚えておきなさいというイエス様の思いを、強くあらわします。ではこの言葉はどのような状況で、誰に対して語られたのでしょうか。

今日の場面は、何人かのギリシア人がフィリポの元に来た出来事です。ギリシア人とは、いわゆる「異邦人」です。彼らはイエス様に会いたいとフィリポに頼みました。そしてフィリポはアンデレに相談し、フィリポとアンデレは連れだってイエス様のところに行ったのです。

ヨハネによる福音書によると、フィリポとアンデレの二人はイエス様が最初に声を掛けた弟子たちです。最初にイエス様に従ったのはアンデレでした。そして彼は兄弟であるシモン・ペトロをイエス様に会わせました。またその翌日にイエス様に声を掛けられたのはフィリポでした。フィリポもまた、そのすぐ後でナタナエルに出会い、イエス様と引き合わせます。つまりアンデレもフィリポも、イエス様と他の人とを引き合わせた、まさに伝道者としての働きをしたわけです。

今回も、フィリポはギリシア人から「イエス様に会いたい」という依頼を受けまし



た。そしてアンデレと共にイエス様の元に行った二人は、「アーメン、アーメン」から始まる言葉をかけられました。

イエス様が直接ギリシア人に会ったかどうかはわかりません。しかしたとえ直接会わなかったとしても、イエス様の言葉は二人の弟子を通して、伝えられたのではないのでしょうか。

そして今、この福音を聞くわたしたちも、フィリポやアンデレと同じように、イエス様の言葉を伝えていくことが求められているのではないのでしょうか。

イエス様はご自身を一粒の麦にたとえられました。イエス様は多くの実を結ぶために、神さまからこの世に遣わされました。彼一人が立派な実をつけるためではありません。多くの実を結ぶために、彼は地に落ちる必要がありました。それがイエス様の十字架なのです。

そのイエス様の血によってわたしたちは生かされています。わたしたちが多くの実なのです。その喜びを、わたしたちも伝えていきたいと思えます。

4月1日は復活日です。たくさんの人と神さまを賛美することができますように。

桃山基督教会

〒612-8039

京都市伏見区御香宮門前町 184

TEL/Fax 075-611-2790

メール momoyama.kyoto@nssk.org

<教会ホームページ>

<http://momoyama.hannari.com/>